

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業

(公営企業関係)

○登録者情報

高屋 剛 (たかや つよし)

所在地 宮崎県

組織名・所属 役職 医療法人サクラ会あけぼの診療所 診療顧問 (非常勤医師)

略歴

平成 15 年 宮崎医科大学医学部医学科 卒業
平成 15 年 国立国際医療センター 研修医
平成 17 年 宮崎大学医学部附属病院 第一外科 医員
平成 18 年 宮崎市郡医師会病院 外科
平成 19 年 鹿児島大学病院 第二外科 医員 (胸部外科研修)
平成 20 年 魁成会 宮永病院 外科 (平成 21 年より医長)
平成 21 年 串間市民病院 外科 (平成 23 年より部長)
平成 24 年 都城市郡医師会病院 外科
平成 25 年 串間市民病院 外科部長 (再赴任)
平成 27 年 国立国際医療研究センター病院 外科 医員
平成 28 年 社会医療法人同心会 古賀総合病院 外科
平成 31 年 串間市民病院 外科部長 (再赴任)
令和 3 年 串間市民病院 副院長
令和 8 年 医療法人サクラ会 あけぼの診療所 診療顧問 (現職)

○主な取組内容・実績

<公立病院経営強化・経営改革>

・串間市民病院 (宮崎県串間市) において外科部長・副院長として通算約 10 年勤務し、人口減少・医師不足が深刻な地域における唯一の急性期病院の経営再建に中心的役割で従事。入院・外来の診療体制の抜本的見直し、手術室稼働体制の最適化、クリニカルパスの整備による在院日数短縮等を主導し、手術件数・病床稼働率・医業収益の大幅な改善を実現した。厳しい経営環境のなかでも救急受入体制の維持・強化に努め、地域住民が必要な医療を受け続けられる環境の確保に尽力した。

・公立病院経営強化プランの策定・改定に深く関与し、病院の果たすべき役割の再定義や病床機能の方向性について院内外の議論を牽引。地域医療構想調整会議においても病院側の立場から積極的に協議に参画し、行政・他医療機関との連携強化に貢献した。また、民間医療機関との機能分担・連携のあり方についても検討を重ね、地域全体の医療提供体制の持続可能性を見据えた政策立案に携わった経験を有する。

＜診療報酬の最適化・医業収益改善＞

・診療報酬改定への対応（施設基準の届出・管理）を実務として一手に担当。各種加算の算定要件充足に向けた体制整備、地方厚生局への届出手続き、院内規程の整備を一体的に推進した実績を有する。診療側と事務側双方の視点を持つ医師として、レセプトデータ・経営データの分析をもとにしたコスト構造の把握から収益改善策の立案・実行まで一貫して関与してきた。診療報酬の算定漏れ防止や未収金対策など、医業収益の底上げに直結する取組についても実務を主導した。

＜医師等の確保・地域医療体制整備＞

・宮崎大学医学部との連携のもと、地方公立病院への医師派遣・確保に係る調整を長年にわたり経験。自らも国立国際医療研究センター・宮崎大学・鹿児島大学・複数の公立病院に勤務した経歴を持ち、医師の視点から見た赴任先の魅力発信や勤務条件の整備、定着促進策について実践的な知見を有する。過疎地域・離島における医師確保の困難さと現実的な対応策、および医師の働き方改革を踏まえた持続可能な勤務体制の構築についても幅広く助言できる。

○その他

・資格：医師（外科専門医、消化器病専門医）
・公立病院における経営改善・医業収益向上の実務経験（外科部長・副院長として従事）を踏まえ、医師の視点から診療報酬の最適化、病床機能転換、地域連携体制の強化について実践的な助言が可能です。臨床現場の実情を熟知した医師の立場から、経営数値の分析にとどまらず、診療体制・人員配置・患者動態を踏まえた具体的かつ実行可能な改善策を提案いたします。在宅医療・地域包括ケアの現場にも現在携わっており、急性期から回復期・在宅までの連続した視点で医療提供体制全体の最適化について助言できることも強みとしております。

□

地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業 アドバイザー取組分野 一覧

氏名: 高屋 剛

【公営企業関係】

| 下記のうち、助言可能な事業に○を付してください(複数回答可) | | | | |
|--------------------------------|----|---------|----|----------|
| 対象事業 | 1 | 水道事業 | 11 | 船舶事業 |
| | 2 | 簡易水道事業 | 12 | 港湾整備事業 |
| | 3 | 工業用水道事業 | 13 | 市場事業 |
| | 4 | 軌道事業 | 14 | と畜場事業 |
| | 5 | 自動車運送事業 | 15 | 観光施設事業 |
| | 6 | 鉄道事業 | 16 | 宅地造成事業 |
| | 7 | 電気事業 | 17 | 駐車場整備事業 |
| | 8 | ガス事業 | 18 | 介護サービス事業 |
| | ○ | 病院事業 | 19 | その他事業() |
| | 10 | 下水道事業 | 20 | 第三セクター等 |

| 下記の取組分野のうち、該当するものに○を付してください(複数回答可) | | | | |
|------------------------------------|------------------------|------------------------------|-------|---|
| 事業共通 | 1 | 地方公営企業法の適用 | 8 | 事業廃止、民営化・民間譲渡 |
| | 2 | DXの取組 | 9 | 料金改定 |
| | 3 | GXの取組 | 10 | PPP/PFI、包括的民間委託、指定管理者制度 |
| | 4 | 経営戦略の策定・改定 | 11 | 施設の統合・廃止 |
| | ○ | 公立病院経営強化プランの改定・経営強化の取組 | ○ | 12 経営診断・コスト分析 |
| | 6 | 上下水道の広域化 | 13 | 維持管理コストの効率化 |
| | 7 | 第三セクター等の経営健全化 | 14 | その他() |
| 取組分野 | 水道事業・工業用水道事業 | | 病院事業 | |
| | 1 | 水道料金関係(滞納整理等) | ○ | 1 地域医療提供体制の機能分化・連携強化 |
| | 2 | アセットマネジメント | ○ | 2 医師等の確保・働き方改革 |
| | 3 | 施設の統廃合・共同利用(広域連携含む) | ○ | 3 経営形態の見直し |
| | 4 | システム導入・更新(システム共同利用による広域連携含む) | ○ | 4 経費削減等の病院経営の効率化 |
| | 軌道事業・自動車運送事業・鉄道事業・船舶事業 | | ○ | 5 診療報酬の最適化 |
| | 1 | 運転手・技術職員の確保対策 | ○ | 6 病院建替の基本構想・建替計画の策定 |
| | 2 | 運転手の労務管理 | ○ | 7 病院建設費のコスト削減 |
| | 3 | 車両(船舶)整備の低コスト化 | ○ | 8 病床機能転換及び診療体制の一体的見直し(公立病院医療提供体制確保支援事業の基礎的支援) |
| | 電気事業・ガス事業 | | 下水道事業 | |
| | 1 | 技術職員の確保対策 | 1 | 施設建設コスト(老朽化対策含む)の効率化 |
| | 2 | 原材料調達の低コスト化 | 2 | システム導入・更新(システム共同利用による広域連携含む) |